

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、法人税・年金保険料揚げや国債発行等の要因があったものの、国債買入オペ等が大量に行われたこともあって、当座預金残高は過去最高を更新し、110兆円前後での推移となった。無担保コールONレートは特段の変化も無く、朝方0.07%台前半で立ち上がり、一巡後は0.06~0.065%での推移となる展開が続いた。ターム物は大手行のビッドが散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは週間で2本オファーされ、6日の3M物は落札3,300億円、9日の3M物は落札2,121億円の結果となり、いずれも札割れとなった。米ドル資金供給オペは7日に2本オファーされたものの、応札は無かった。

今週は源泉税揚げが15日に見込まれるものの、高水準の当座預金残高を背景にONレートは引き続き0.07%台前半で推移しよう。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週初こそ足元金利が低位で安定していたこともあって落ち着いた展開となったものの、足元金利が国債発行要因で上昇すると、残存が短い1M程度の銘柄を中心に軟調な展開となった。短国の入札は、7日と9日に3M物、10日に6M物が実施された。7日に行われた3M物の入札は平均落札利回0.0584%、最高落札利回0.0601%、9日に行われた3M物の入札は平均落札利回0.0612%、最高落札利回0.0628%と概ね事前予想通りの結果。セカンダリー市場での需要は乏しく、両銘柄とも入札時の足切水準を超える出合いが見られた。10日に行われた6M物の入札は平均落札利回0.0580%、最高落札利回0.0601%とやや強めの結果となり、ショートカバーから一時的に0.055%の出合いが見られた。週末の気配は1~2M0.06~0.085%、3M0.06~0.065%、6M~1Y0.05~0.06%と引き続き逆イールドの状態が続いている。

先週のCP市場は、10・15日スタートとなる石油、鉄鋼、電機業態等によるまとまった案件が複数見られ、発行総額は週間で8,800億円程度に達した。年末要因が剥落し、新年のレート感を探る展開のなか、a-1格以上の優良銘柄の発行レートは、0.10%を下回る水準で堅調に推移。一方で、発行残高が嵩んでいる銘柄には若干のレート上昇も見られた。10日にオファー額4,000億円を実施されたCP等買入オペは、ここ最近続いていたオファー額の増額がなくなったことや、市場での売却ニーズの強い銘柄が応札可能となったことから、按分落札利回は0.079%となり、前回比(按分0.04%)で大幅な上昇となった。

今週の短国市場は3M物と1Y物の入札が実施される。足元金利や買入オペ等の動向を眺めながらの入札となろう。CP市場は月末に向けて発行が膨らむことも予想され、活発な取引が期待される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で13,300億円程度の還収超見通し。財政資金は、15日の源泉税揚げ、TB6M・2Y発行超過を中心に5兆1,700億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3兆8,400億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<14日>TB3M;償還49,000億円・発行57,000億円/10Y物価連動;発行3,000億円 <15日>TB6M;償還22,000億円・発行35,000億円/2Y;償還13,000億円・発行22,000億円/個人向け2Y;償還800億円/個人向け5Y;償還4,700億円<17日>30Y;発行6,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2013年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
1/13 (月)	成人の日							
1/14 (火)	3,300	△ 14,700	△ 11,400	全店共通(固) CP買入	△ 3,600 △ 400	2,100	△ 1,900	△ 13,300
1/15 (水)	5,000	△ 34,000	△ 29,000	国債買入		3,100	3,100	△ 25,900
1/16 (木)	3,000	1,000	4,000	CP買入		4,000	4,000	8,000
1/17 (金)	2,000	△ 4,000	△ 2,000				0	△ 2,000
週間合計	13,300	△ 51,700	△ 38,400		△ 4,000	9,200	5,200	△ 33,200

(注) 上表の1/14は日銀予想、1/15以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
1/13 (月)	成人の日		12月の米財政収支
1/14 (火)	11月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	預保借入	12月の英消費者物価指数 12月の米小売売上高 11月の米企業在庫
1/15 (水)	12月のマネーストック(日銀 8:50) 11月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB1Y 25,000億円 1/20発行	30Y 6,000億円 1/17発行
1/16 (木)	11月の機械受注統計(内閣府 8:50) 11月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 12月の企業物価指数(日銀 8:50) 日銀支店長会議 さくらレポート(=地域経済報告)	TB3M 57,000億円 1/20発行	12月の米消費者物価指数 12月のユーロ圏消費者物価指数 改定値
1/17 (金)	11月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 12月の消費動向調査(月次、内閣府 14:00)	流動性供給 3,000億円 1/21発行	12月の米住宅着工件数 12月の米鉱工業生産・設備稼働率 1月のミシガン大消費者信頼感指数速報

1/15 交付税借入10,500億円 1/23借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認載きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。